



足浴を通して患者さんとのふれあいの大切さを学びました

看護の心をみんなの心に

高校生10人がふれあい看護体験

ふれあい看護体験は、5月11日、西根病院で行われ、市内外の高校4校の生徒10人が参加しました。当日は、看護師から指導を受けながら、足浴や昼食の配膳などの体験をしました。足浴を受けた高齢者は「気持ちよかった。こういう子どもたちが増えるといいな」と語りました。立花晃大君（盛岡中央高校3年、星沢）は、「おじいさんやおばあさんとの交流がもともと好きだった。看護に興味があったので、今後の進路に役立てたい」と看護への関心を高めました。

福祉施設の充実ぶり見学

特別養護老人ホームむらさき苑施設公開

社会福祉法人西根会（遠藤環理事長）が運営する特別養護老人ホームむらさき苑の増床工事に伴う施設公開が、5月2、3の両日、開催されました。施設公開に訪れた見学者は、増設された建物内の設備について職員から説明を受け、その充実ぶりと広さに驚いていました。増床工事によりむらさき苑の長期入所者の定員は30人増え、80人となりました。また、災害時には、避難場所として利用することが可能な機能を有しています。



工藤幸栄施設長（左端）の説明に聞き入る見学者



放牧直後から元気に草をはむ牛たち（上坊牧野）

家畜の発育と健康を願う

市営牧野で放牧を開始

市営上坊牧野では、5月15日、市内の他の牧野より一足先に放牧を開始しました。当日は、雨の中、約240頭のホルスタインが、予防接種と体重測定の後、牧野へと放たれました。放牧は、酪農家の低コストでの育成を主な目的としており、市内での利用率は上昇傾向にあります。また、5月21日から25日にかけて、市営七時雨牧野および長久保牧野で、黒毛和種と日本短角種の放牧も始まり、11月中旬まで実施する予定となっています。

三陸との絆を深める合宿

第1回八幡平市&三陸中学校野球部合同合宿

「がんばるべ！第1回八幡平市&三陸中学校合同合宿」は、5月3日から5日まで、松尾・中山グラウンドおよび松尾総合運動公園で開催されました。合宿には、市内と沿岸からそれぞれ5校ずつ計10校の生徒と関係者約200人が参加。練習試合後には、日本オリンピック委員会強化スタッフの清水隆一さんから、体の構造を生かした技術向上の方法などを教わりました。また、埼玉西武ライオンズの菊地雄星投手から合宿開催にあたり激励メッセージが寄せられました。



沿岸と市内を合わせて10校の生徒が指導を受けました



従業員から測量の方法を教わりました（4月27日、大更小）

建設の仕事を肌で感じる

市内小・中学校校庭整備等奉仕活動

校庭整備等奉仕活動が、4月21日から5月31日にかけて、市内各小・中学校10校で行われました。同活動は、市建設協同組合（遠藤忠志理事長）が実施しており、その一環として体験学習も開催されました。大更小学校（内田孝次校長、児童360人）では、重機を間近で見学したほか、光波測距儀を使用して、測量を体験しました。田村翔太君（6年、下町三区）は「皆さんとても優しいので、造っている建物や道路は安全安心なはずです」と信頼を高めていました。

世界遺産登録に感動して

平館高校生徒が中尊寺へ紫薫枕を奉納

平館高校（岩澤健二校長、生徒290人）の家政科学科3年、辻本鈴菜さん（駅前一区）と竹田瑠伽さん（両沼）は、5月15日、平泉町の中尊寺を訪れ、紫根染で作った「紫薫枕」を奉納しました。2人は平泉文化の世界遺産登録の感動を、同校で取り組む「紫薫枕」の奉納で表現。希少なムラサキの根から作る紫根染は、これまで先輩から後輩へと引き継がれてきた伝統であり、2人は「今後もムラサキを大切にし、科学的な研究もしてほしい」と語りました。



お礼の色紙を手にする竹田瑠伽さん（左）と辻本鈴菜さん

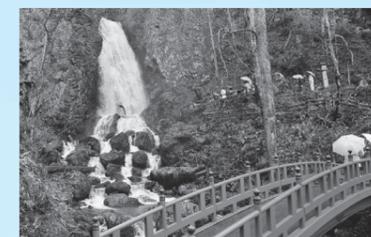
すなっぷギャラリー



自衛官募集相談員辞令交付式（5月14日、市役所）



平笠学童保育クラブの遠足（5月21日、サラダファーム内）



雨でも多くのお客さんが来場しました（5月3日、不動の滝まつり）



重機の迫力を体感しました（5月7日、田山小職業体験学習）



友好都市・名護市からの訪問団（5月11日、さくら公園）